

2025 年度（第Ⅲ期 2025 年 7 月～2026 年 3 月）活動報告

2025 年は高市政権が発足し初の女性首相と話題となった一方で、政権の右傾化が進み、選択的夫婦別姓の機運が後退するなど、ジェンダー平等や人権擁護にとってはかえって逆風の事態となった。女性の母役割を強調する政党が躍進し、外国人ヘイトの喧伝、経済格差がより拡大するなど、人々の心に将来への不安が広がらざるを得ない情勢となっている。世界に目を向ければ、アメリカとイスラエルによるパレスチナ・中東攻撃、ロシア・ウクライナ間の戦火も止まず、生命・経済へのグローバルな不安と分断が拡大しているといえるだろう。

日本では、加速する高齢化のなか物価高騰が続き、地震や気候災害の危機感に資源不足への危機感が加わり、弱い立場に置かれた者がより困難で暴力的な状況下に置かれつづける可能性が高まっている。家族の中で、学校や職場で、地域で、SNS やネット社会の中で、実は孤立し、心の拠りどころや相談支援を求める人は後を絶たない。

そんな時代の中、ともの第Ⅲ期事業年度は、2025 年 7 月からスタートし、前回総会の決議を踏まえて行政年度と一致させる 3 月末日終了とする年度変更を実行した。また、都内 9 市区、埼玉県 4 市町の契約自治体の 2025 年度相談委託業務を無事終了することができ、2026 年度の継続契約へとつなぐことができた。メンバー各位の日ごろの堅実な業務の積み上げによる成果が認められる。

自治体の仮見積の要請が秋口から始まり、本見積及び契約締結は 3 月以降に集中するが、今回、JR 線など交通費の一律値上げが発表されていたため、その分を僅かながら上乗せできるよう見積書を提出し、契約金額の変更を実現した。また唯一、価格競争入札である台東区も落札でき、経営基盤の安定につながっていると言える。

今年度の大きな実現は、当初の活動計画のとおり「とも」として、武蔵野市内に事務所を契約・確保したことである。駅からのアクセスが良く、2 部屋独立した角部屋の明るい 2 K で、幸いにも良心的な管理会社、オーナーの物件を見つけることができた。これにより、2025 年 12 月以降は個人宅で行っていた法人事務を事務所で行えるようになり、プリンター、wifi、キャビネット等のインフラ・備品を含めた事業経営の基盤作りを実行した。老朽化していたユニットバス・トイレの新品入れ替え工事も 4 月初旬に終了（オーナー費用）。今後さらに、個人カウンセリング事業、グループ事業などの発展が期待できると考える。また、この事務所確保の時期をはかり、今年度の広報活動として計画されていた「講座案内パンフレット」の印刷を新住所で行った。

一方、情報交流・コミュニケーション・会員拡大としては、これまで 2 人のカウンセラー経験者と面接を行い、1 人の方には今後も機会があればつながっていける感触を得た。今期の活動は、「とも」としてのコミュニケーション拡大が十分ではなかったが、事務所を得て運営基盤ができたことで、各メンバーの活動や HP 等を通じて「とも」の存在をより広く知っていただき、将来の会員拡大、さらに法人のめざすジェンダー平等社会への取り組みを進めていきたいと考える。

会員各位の一層のご協力をお願いしたい。

一般社団法人カウンセラーズ・オフィスとも理事会

2026 年度より 花崎 晶・福田由紀子（共同代表理事）、生田ゆみ（理事）